

2020年8月25日

国連責任投資原則（PRI）の年次評価における最高評価「A+」の獲得について

ニッセイアセットマネジメント株式会社（社長：大関 洋、以下「当社」）は、国連責任投資原則※1（以下「PRI」）による2020年の年次評価において、以下の評価項目につき最高評価の「A+」を獲得しました。

【今年度のポイント】

- ・ ESG 運用に関する方針や体制を評価する「戦略とガバナンス」部門にて、最高評価を獲得 《6年連続》
- ・ 外部運用会社（運用の委託先等）の選定・モニタリングにおける ESG に係る取り組みを評価する外部運用領域の「上場株式」部門にて、最高評価を獲得 《2年連続》

【最高評価の獲得項目】

評価領域		結果
「戦略とガバナンス」部門		A+、6年連続
直接運用	上場株式－「ESG統合」部門	A+、5年連続
	上場株式－「アクティブオーナーシップ」部門	A+、3年連続
外部運用	「上場株式」部門	A+、2年連続

「PRIの年次評価」とは、PRIに署名する機関投資家を対象に、PRI事務局が責任投資の実施状況等について評価したものであり、評価結果は6段階（A+、A、B、C、D、E）で付与され、「A+」がグローバルの最高評価となっています。

当社は、資産運用の調査・投資判断において ESG にかかわる課題を適切に考慮することが、長期的な投資収益の改善のみならず、資本市場の健全な発展と持続可能な社会の実現にも貢献するものと考えています。2008 年に国内株式への ESG レーティング※2 の付与を開始して以来、ESG 運用に注力してきました。今回の最高評価獲得は、こうした取り組みを積み重ねてきた結果であると考えています。

今後とも、機関投資家としての社会的責任を果たすため、ESG 運用の更なる高度化に向けた不断の努力を続けてまいります。

※1 国連責任投資原則（PRI:Principles for Responsible Investment）とは、国連の提唱により 2006 年に策定された、環境・社会・企業統治（ESG）における諸課題を投資の意思決定プロセスに反映させること等を定めた原則。当社は 2006 年に同原則に署名。

※2 企業の ESG 取組に対し「企業価値につながるか否か」の視点から当社独自のレーティングを付与。

以 上